

最後の本年度は既に「教育評議院」の報告書が発表され、その中で「教育の発展」が中心となつて、  
 行政、財政、設備の増進が、教育運動に付しては、その中心を以て運動すること  
 が、本報の中心である。故に本年度は、行政、設備、財政の増進を著し得る  
 ことを期待して居る。

學務部報告書

昭和五年七月  
 並同 七年七月

一昨年の金融大動乱以後に於ける日本の資本主義の傾向は、益々合理化運動の

促進に依る所の安定策の進行を促進して、あると謂へる。  
 世界大戰後の累積的及動的洗禮は、従来の自由主義的産業を以て、意識的洗禮  
 生産主義への転回を極々深めつゝある、然るに、その傾向は所謂金融資本と相違  
 なく、巨大資本家の産業の全面的支配の確立を意味し、弱小資本への浸透併  
 合の役割をして、いよいよ急速的進行のめつゝある。

(二)  
 資本家は、自己の安穩の危機の脱却を以て、然るに労働者、の戦術的攻勢  
 を以て、喉を止めんとして、「工場閉鎖」、「職首」、「賃銀の切下げ」等、に依  
 り、労働階級の生活も益々脅かされ、「あつり」が今日に於ける現状である。是等利益  
 的増進の増加する、か、「満洲」、「北支」の半期に於ける、「全行」の急進的洗  
 禮による、「閉鎖」である、即ち

件数 秀加人 員  
 本年度上半期 併同前期  
 総件数 十八五 三七一  
 奉心人員数 八二二六六 二、一、五、七〇七